

平成15年12月19日〔金〕第22号



稚内海上保安部
 〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号
 TEL 0162-22-0118
 FAX 0162-29-2007
 e-mail wakkanai-kanri@kaiho.mlit.go.jp
 ホームページアドレス
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>



最北ねっと

THE MOTTOMO-KITA NET

平成15年 稚内海保のあとさき

《職員が選びました》

皆さん佳いお年を

お迎え下さい！！



～海からの生還～ 救命衣着用PRビデオの制作



巡視船しらかみ(大久保良一船長)は3月半ばに《救命衣着用100%を目指

して～海からの生還～》を職員、漁協・漁業者及びその家族らの協力を得て制作した。学校、漁協、関係機関などへ配布、海難防止・安全操業など啓発活動などに活用。

毛ガニ籠漁具被害取締り

3月15日～7月25日の間、毛ガニ籠漁の漁具被害取締りを実施した。平成10年～昨年まで5年間の漁具被害は34件、約3千万円相当に及ぶ。操業海域から外国船による被害、窃盗の疑いもあり、巡視船艇・航空機の連携による監視・取締りを強化、また水産庁や北海道の漁業取締船、漁協など関係機関との密接な連携など効果的な監視態勢の成果として、漁具被害ゼロを達成した。

救命衣着用実態調査の実施



4月～6月の間、管内13漁協に対し、救命衣着用100%を強力に推進するため、職員による集中的な浜廻り、「救命衣着用実態調査」を実施。結果、着用率が極めて高いことなどから、宗谷・猿払村・枝幸・頓別・稚内・天塩の各漁協に7月4日稚内海保部長感謝状を贈呈。「救命衣着用推進モデル漁協」のプレートを付与。

当て逃げロシア貨物船を検挙



6月30日、礼文島沖合にて香深漁協所属漁船第88宝晴丸の右舷船尾付近に通行船舶が接触し、稚内方面に逃走したとの情報を得、稚内港を捜索中、船体に擦過痕のあるロシア船PERLAを発見。船長らから事情聴取、船体付着の塗膜片が鑑定の結果一致し検挙、送致した。

油流出のベリーズ籍船に「初のボンド制度」を適用

7月10日、稚内港に停泊中のベリーズ籍船RED WINGSが油性混合物を流出。被疑者を特定のうえ、ボンド制度に基づき担保金50万円を納付させ、同船を釈放。

北の鉄人「れぶん大平機関士」トリアスロン大会3年連続完走

8月24日、国内最大級の鉄人レース「第17回日本海オロロンライン・トリアスロン国際大会」に巡視船れぶん大平雅義官が3年連続完走を遂げる。327人出場し271人が制限時間内完走。大平官は157位、13h4m36.6sの好記録。

10年振り、日ロ洋上会談の開催



9月25日、宗谷岬北方海上で、ロシア連邦・サハリン国境警備隊との洋上会談を実施。同会談は平成5年10月以来、10年振り2回目。ロシア側が警備艇から巡視船しらかみに移乗して行われ、連絡・協力体制を確立するなど、新たな友好関係の構築を図った。

稚内海保昇格50周年記念式・祝賀会&五十年史の発刊



10月1日、稚内サンホテルにおいて海上保安部昇格50周年記念式・祝賀会を開催。同時に五十年史発刊。

いか釣り漁船第8海興丸火災事故・乗組員3人救助



11月13日、礼文島北方海域で、いか釣り漁船第8海興丸(3人乗組)の機関室から出火、炎上。乗組員3人は僚船第18清宝丸(敦賀勝正船長)に救助される。巡視船しらかみが現場急行、消火活動を実施したが該船は沈没。

海上保安部昇格50周年記念イベントアラカルト

